



SDGs スタートブック

大好き! 福山
～ふるさと学習～

【下巻】

福山市教育委員会



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



SDGsは、世界が抱えるさまざまな問題を解決し、すべての人が安心して生活できる未来を築くため、2015年に国連総会で決定した17の目標です。

みなさんは2030年には、どこで、何をしていますでしょうか。

どんな自分が思い浮かびますか。

どんな世界を想像しますか。

未来は、自分の命や今の生活につながっています。

“福山100NEN教育”が描く未来は、変化の激しい社会の中で「子どもたちは、自分の夢の実現に向けて、ローズマインドを胸に、福山で、日本で、世界で、たくましく生きている。そして、環境・貧困・人権・平和・開発など、現代社会のさまざまな問題を自らの課題として捉え、それらの課題解決のために、さまざまな人々と協働して、持続可能な社会を創造している。大人は、生涯にわたって学び続けて自己の能力と可能性を高め、その成果を生かして、まちづくりに参画するとともに、次代を担う子どもたちを育てている。」という姿です。

このスタートブックを活用し、SDGsの理念や考え方に触れ、次の100年へ、更にもその先の未来に向かって、一人一人の確かな歩みを進めていきましょう。

私たちの毎日が、未来になる。

目次

SDGsって何だろう？	04
「まとまり」でとらえるSDGs	06
SDGs 17の目標	07
事例で学ぶSDGs	25

SDGsって何だろう？

2030年までに達成する世界の約束

気候変動による異常気象、海や森などの自然環境の破壊や汚染、経済成長による格差の広がり、多発する紛争…私たちの世界には、解決しなければならないたくさんの課題があります。こうした課題をそのままにしては、世界の未来は良い方向に進むどころか、今より悪い方向に進んでしまうかもしれません。

SDGsは、世界が抱えるさまざまな課題を解決して、より良い未来をつくるための「世界の約束」です。2015年に国連総会で採択され、2030年までの達成を目指しています。

誰一人取り残さない社会をつくる

SDGsができる前の2001年から15年間、世界はMDGs（ミレニアム開発目標）に取り組んできました。MDGsは、貧困を解決する、HIVなど感染症の拡大を防ぐ、男女の間の不

平等をなくす、教育の機会を与えるなど、主に途上国が抱える8つの課題について、先進国が協力して解決していこうというものでした。

2015年になり、MDGsはかなりの成果を上げましたが、当初の目標を完全には達成できず、また、途上国の一部の地域では十分な解決ができませんでした。加えて、2015年の世界を見渡してみると、格差や健康、不平等など、先進国にもさまざまな課題があることが明らかになりました。

こうしたことから、途上国も先進国も「誰一人取り残さない」より良い社会をつくるための新たな目標づくりに注目が集まるようになりました。

みんなで決めた17の目標

そこで、世界中の国の代表者、教育や保健などの専門家、女性や若者など、さまざまな立場の人が参加して、人々のより良い生活のさまた

げになっている問題について、話し合いを行いました。そして、私たちのような市民からも意見を集め、「貧困をなくそう」「不平等をなくそう」「気候変動への具体的な対策をしよう」など、これからの世界が解決すべき17の目標（ゴール）と、具体的な取り組み目標（ターゲット）をつくりました。そして、目標が達成されているか確かめる方法も決めました。

一人一人が主役のSDGs

SDGsはさまざまな立場の人が意見を出し合って決めたものです。ですから、その達成に向けては、企業や自治体、個人なども自由に参加できるようになっています。また、一つひとつの目標を見てみると、あらゆる立場の人が行動を起こさなければ、達成できないものも少なくなく、私たち一人一人の小さな行動が、SDGsを実現するためにはとても重要なものだということが分かります。

未来をつくる道しるべ

では、私たちには何ができるのでしょうか？ 実際は、その問いに正解はありません。なぜなら、SDGsにはこうしなさいというルールや決まりが一切ないからです。実際に何をどのように取り組むかは私たち自身にまかされているのです。さあ、あなたは17の目標のどれに取り組んでみたいですか？ 複数の目標を関連づけて取り組むこともできます。目標が決まったら、どうすればそれを実現できるのか、小さくても良いので今の自分にできることを考えて、具体的な計画を立ててみましょう。そして、その計画が本当に実現可能なのか、周りの人に聞いてみたり、時々振り返ってみたりすることも大切です。そうしていくことで、あなたの計画は実現可能なものになり、より良い未来をつくる大切な計画になることでしょう。

持続可能な開発とは？

「持続可能」とは、今だけではなくずっと続けていける、ということで、「開発」というのは、今あるいろいろな問題を解決して、みんなが安心して満足した暮らしができるようにする、ということです。

つまり、「持続可能な開発」とは、将来の人に負担を残したり、押し付けたりするようなことをしないで、今を生きる人たちの問題を解決していく、という意味になります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「まとまり」でとらえるSDGs

SDGsの目標を一度に覚えようとすると大変です。そこで、いくつかの「まとまり」を意識すると理解しやすくなります。

1から6までは、貧困や飢餓などMDGsから引き継がれている目標で、いまだ途上国にとって大きな社会的な目標です。7から12までは、エネルギーや産業、雇用など、先進国にも関係する経済的な目標、13から15までは環境・自然に関する目標、そして、16、17はすべてに共通して関わりのある目標となっています。



環境（自然）の上に社会が成り立ち、その上に経済が成り立っていることを考えると、私たちがより良く生きるためには、これら3つの分野の調和と、誰一人取り残さない社会をつくるために、平和やパートナーシップの観点が必要不可欠に分かります。

目標によっては、環境と経済、社会と経済に関わるものもあり、必ずしも明確にまとめられるわけではありませんが、おおよその「まとまり」でとらえると、SDGsの理念や考え方が理解しやすくなると思います。

SDGs 17の目標

SDGsの17個の目標が、それぞれ何を目指しているのか見ていきましょう。最初から順番に読んでもよいですし、気になった目標から読み始めてもかまいません。

それぞれの目標を通して世界の現状を知り、未来について考え、一步を踏み出すヒントにしてください。

1 貧困をなくそう



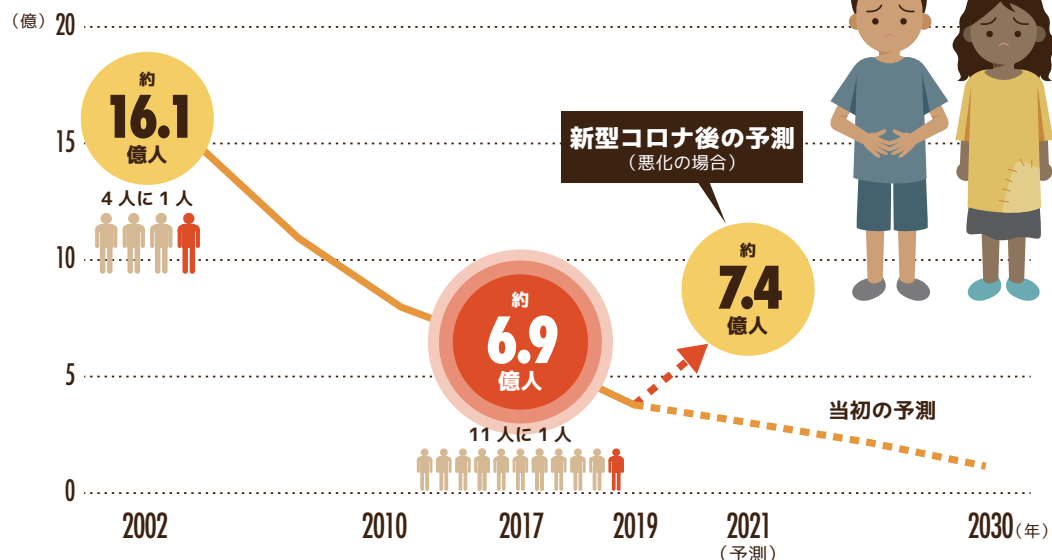
目標 1 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-1.html>

貧困をなくそう

世界中のあらゆる貧困を終わらせる。

「貧困」とは、生きていくための最低限度の生活ができない状態だけでなく、ある地域社会の中で、ほかの多くの人に比べて社会的・経済的に弱い立場にある状態のことを含みます。

1日1.9ドル未満で暮らす人々



「Poverty and Shared Prosperity 2020 (World Bank)」より作成

世界には、「1日1.9ドル未満」で暮らす極度の貧困状態の人が約6.9億人います。1.9ドルは約210円。生きていくための最低限の生活もままなりません。こうした人たちは教育を受ける余裕もなく、親から子どもへと貧しさが受けつがれ、貧しさから抜け出すことができません。

先進国では、豊かな人とそうでない人との格差が広がり、社会的・経済的に弱い立場で苦しんでいる人がいます。彼らは、その国でほかの人が得られているサービスを受けることができません、差別や偏見の対象にされてしまうことも少なくありません。

世界から貧困をなくすためには、今、貧困状態に苦しんでいる人への支援に加え、紛争や、大きな自然災害などが原因で、新たに貧困状態になってしまう可能性がある人たちを守ることも求められています。

福山では



格差

災害

偏見



2018年(平成30年)の大雨による福山での被害の様子

2 飢餓をゼロに



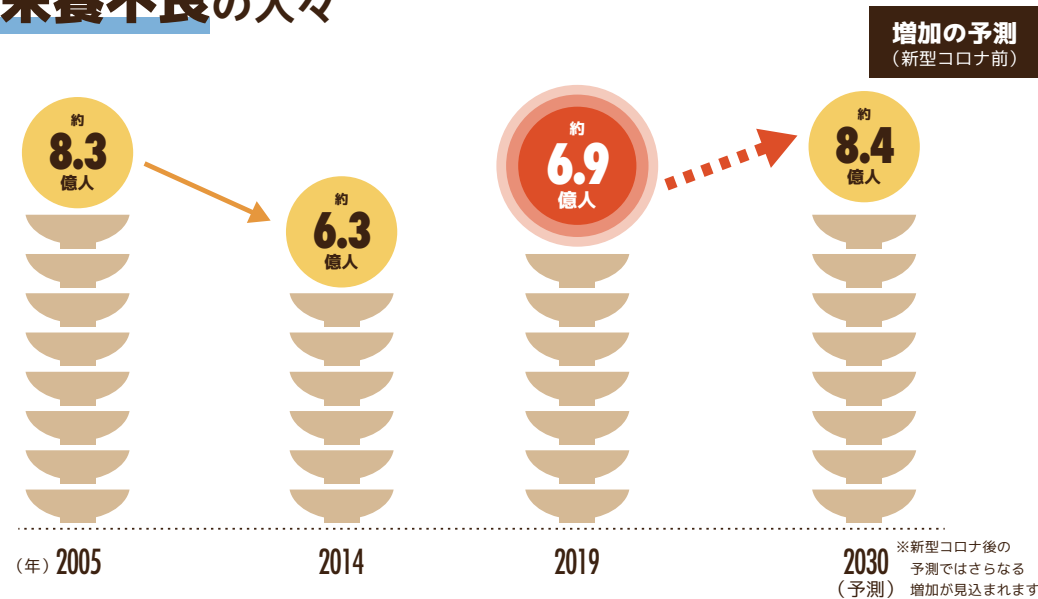
目標 2 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-2.html>

飢餓をゼロに

すべての人に安全で栄養のある食料を確保し、あらゆる形の栄養不良を解消する。人や自然にとって持続可能な農業を推進する。

「飢餓」とは、健康な生活を送るための必要かつ十分な食べ物が不足している状態のことをいいます。

栄養不良の人々



「The State of Food Security and Nutrition in the World 2020 (FAO)」より作成

世界には今、飢餓で苦しむ人が約6.9億人、特に、アジアやアフリカの途上国には、十分な食料を得られず、栄養不足で苦しんでいる人がたくさんいます。それが原因で命を落としてしまう子どもも少なくありません。こうした問題を解決するには、食料の供給元である農家、特に世界の農家の大部分を占める小規模農家の生産力を高めていくことが必要です。

さらに、このまま世界の人口が増え続けると食料の生産が追いつかず、世界的に食料が不足して、先進国も途上国も巻き込んだ食べ物の奪い合いが起こるかもしれません。そうなれば、飢餓で苦しむ人はさらに増えることとなります。現在、飢餓で苦しむ人への食料を十分に満たし、環境のことも考えながら、将来にわたって安全で安定した食料生産と供給の仕組みを開発していくことが、目標2の達成のために求められています。

福山では



世界では

食料不足

自給自足

生産力

環境

3 すべての人に健康と福祉を



目標 3 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-3.html>

すべての人に健康と福祉を

子どもから大人まで、いつになっても健康で安心して生活できるように福祉を推進する。

「福祉」とは、幸せな生活を送るための安定した社会環境のことをいいます。

5歳になる前に亡くなる子どもの数

(2019年)

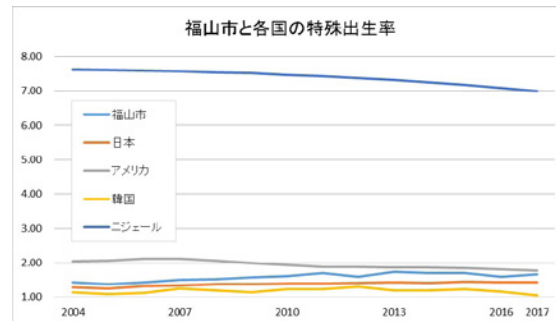


[Levels & Trends in Child Mortality Report 2020 (Unicef)] より作成

世界では、毎年、500万人を超える子どもが5歳になる前に命を落としています。特にアフリカなどの途上国では、病気の予防に関する正しい知識や治療が行き届いておらず、防げるはずの肺炎や下痢などで多くの子どもたちが亡くなっています。また、途上国では妊娠中に亡くなる母親も多く、それ以外にもマラリアや結核などの感染症の危険もあります。

先進国では、肥満や糖尿病といった生活習慣が原因の病気や、たばこやお酒、薬物の乱用、交通事故や環境汚染などで健康を害する人、ストレスで精神的な病気を抱える人が増えており、これらは途上国にも広がり、世界的な問題になっています。

これらを解決するため、薬や医者などの医療環境の整備、性や病気の予防に対する正しい知識の提供、健康や運動習慣に関するプログラムの開発など、さまざまな取り組みが求められています。



福祉

ストレス

感染症

医療環境

4 質の高い教育をみんなに



目標 4 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-4.html>

質の高い教育をみんなに

子どもも大人も、いつでも学ぶことができる環境をつくり、誰もが平等に質の高い教育を受けられるようにする。

小学校に通えない子どもの数



中学校に通えない子どもの数



[UIS Fact Sheet No.56 (UIS)] より作成

日本では、小学校、中学校のすべての子どもたちが教育を受ける権利を持っています。しかし、世界には学校に通えず、教育を受けることができない子どもたちが約1.2億人もいます。

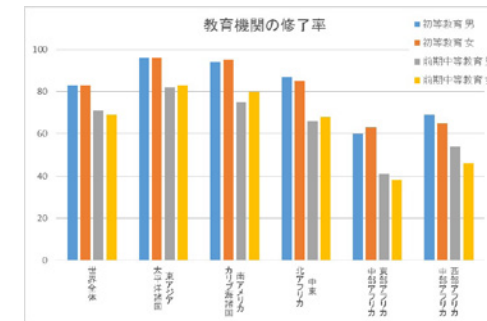
より良い社会をつくるためには、未来を担う子どもや若者が、希望するあらゆる教育を受けられる環境が必要不可欠です。同時に、すでに大人になっている人も、日々生活するために必要な知識や技能について、いつでも教育を受けられることが大切です。

こうした課題を解決するには、貧困や紛争をなくして平和な環境をつくること、女性や少数民族、障がいのある人への差別や不平等をなくすことなど、さまざまな取り組みが必要です。

そして、読み書き計算などの基本的な能力に加え、気候変動や人権、平和など、持続可能な開発について学ぶ機会を増やし、SDGsの担い手となる人を育てるための教育も求められています。

知識

貧困



生涯教育

学校

5 ジェンダー平等を実現しよう



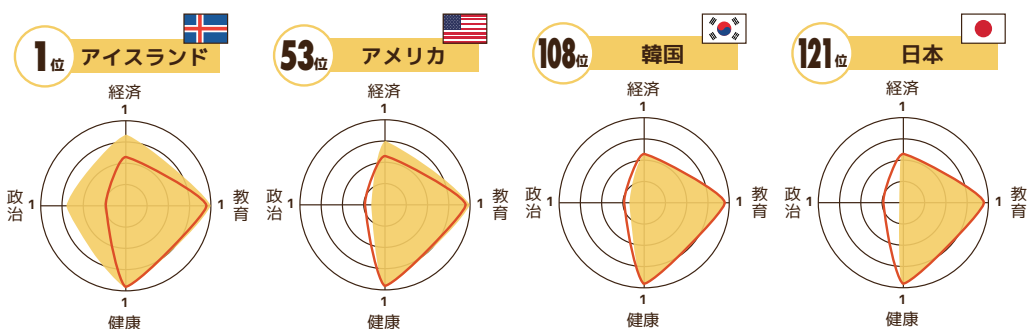
目標 5 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-5.html>

ジェンダー平等を実現しよう

性別にかかわらず平等に機会が与えられ、すべての女性や女の子が能力を最大限に発揮できる社会をつくる。

ジェンダーとは、「男性は外で仕事、女性は家事」など、みんなが無意識に決めつけている女性と男性の社会的・文化的なちがいのことをいいます。

主な国のジェンダーギャップ指数



■ その国のスコア
— 世界の平均スコア

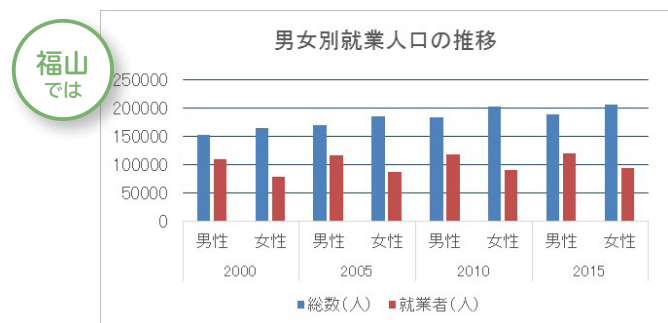
※1に近づくほど男女平等を示している
(調査対象は153カ国)

[Global Gender Gap Report 2020 (WEF)]より作成

世界には、「女性である」というだけで、教育を受けられなかったり、大人になる前の10代で結婚、妊娠、出産させられたり、日常的に暴力を受けたり、さらには人身売買で売られてしまったりするなど、さまざまな差別を受けている人が、今でもたくさんいます。これらは、途上国だけの問題ではありません。家事や育児、就職や昇進、政治や地域社会への参画など、さまざまな場面で女性が平等な機会を得られていない状況は、先進国でも数多く見られます。

世界の人口の半分は女性です。SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会をつくるためには、性別だけで差別されることなく、女性や女の子が能力を最大限に発揮できる環境が必要です。

そして、こうした平等な社会は、女性だけでなく男性にとっても、さらにはLGBTQといった性的な少数者にとっても、暮らしやすい社会であるはずで



※LGBTQ…レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーといった、性的な少数者のこと。



6 安全な水とトイレを世界中に



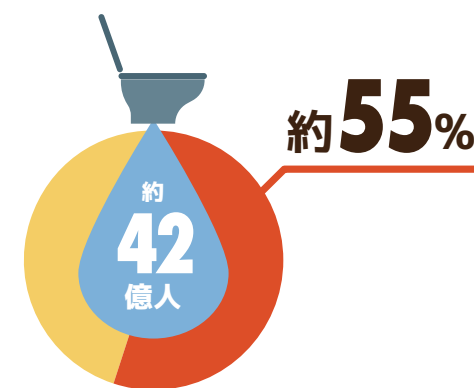
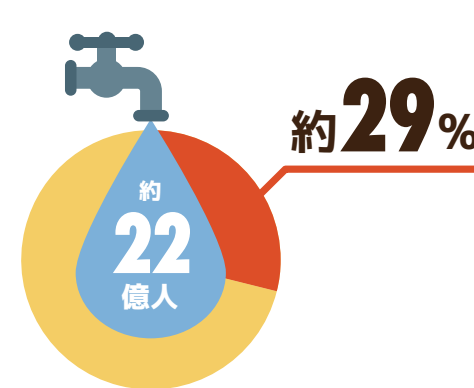
目標 6 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-6.html>

安全な水とトイレを世界中に

- ・すべての人が安全に管理された水と衛生的な環境を利用できるようにする。
- ・限りある水資源を将来にわたって使うための取り組みを進める。

安全に管理された飲み水を
使うことができない人

安全に管理されたトイレを
使うことができない人

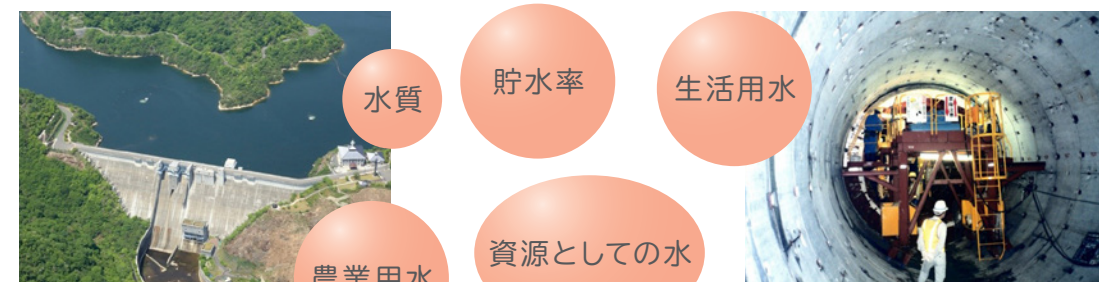


[Progress on household drinking water, sanitation and hygiene, 2000-2017 (WHO Unicef)]より作成

世界には、水道で運ばれる安全な飲み水を使えない人が約22億人、きれいなトイレを使えない人は約42億人もいます。きれいに処理されていない水を飲んで下痢になり、命を落とす子どもも少なくありません。不衛生なトイレやよごれた水は、感染症の原因にも大きく関係しています。

水は、飲み水や生活のためだけではなく、農作物や畜産物などの食料や、自動車や家電などの工業製品をつくるのにも使われます。今後、世界の人口増加や経済発展が続き、このままの消費が続くと、2030年までには7億人もの人が水不足で住む場所を追われるという予想もあり、資源としての水の奪い合いが始まるかもしれません。

こうした問題を解決するために、途上国では安全な水と衛生環境の確保、そして先進国には、限りある水資源を守るために水源林の保全などさまざまな取り組みが求められます。



水質 貯水率 生活用水
農業用水 資源としての水

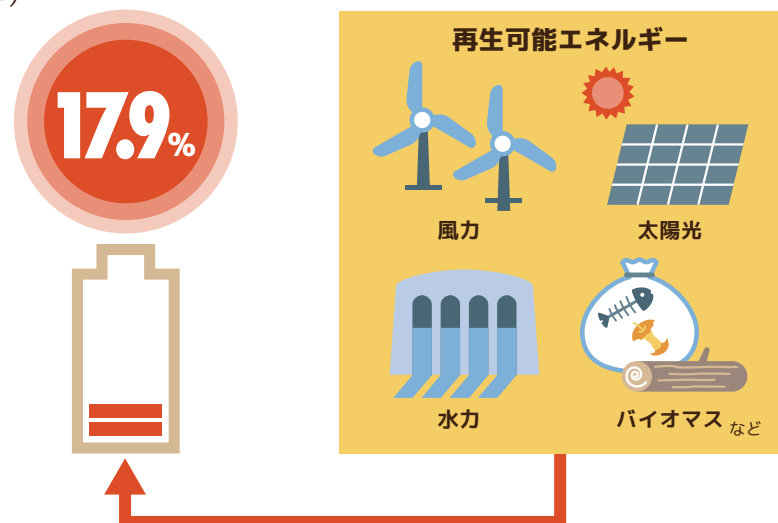
飲み水は「当たり前」に在り続けるか…



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人が安く安全で近代的なエネルギーを
ずっと利用できるようにする。

世界の最終エネルギー消費における再生可能エネルギーの割合 (2018年)



[Renewables 2020 Global Status Report (REN21)]より作成

現代の社会は、電気やガスなどのエネルギーがなくては成立しないものになっています。しかし、世界には、電気を利用できずに生活している人が約7.9億人、薪や灯油、動物の排せつ物などを調理や暖房に使う人も約28億人いるといわれています。新興国を中心とする経済成長に伴い、今後、世界のエネルギー消費は大幅に増えると考えられています。一方で、石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を元にしたエネルギーは、それらを生み出す時に発生する二酸化炭素が、地球温暖化の要因の一つになっていることを忘れてはいけません。

増え続ける需要を満たしながら、将来にわたって安定的にエネルギーを利用していくために、化石燃料に頼らない社会づくり、つまり、環境に負荷をかけない再生可能エネルギーの利用や、エネルギー利用の無駄をなくす取り組みが求められています。

福山
では

福山市固形燃料(RDF)工場と固形燃料(RDF)



エネルギー

日本
では

地球環境

再生可能

世界
では

働きがいも経済成長も

・環境を守りながら、将来にわたって経済成長を続ける。
・すべての人が働きがいと十分な収入を持った仕事が
できるようにする。

5歳～17歳の働く子どもの数は 約1億5,200万人



[Global Estimates of Child Labour: Results and trends, 2012-2016 (ILO)]より作成

「ブラック企業」「過労死」など、働き方に関する問題が日本でも大きな関心を集めています。働くことは収入を得るための手段であると同時に、社会と関わりながら豊かな人生を送るための大切な要素です。しかし、すべての人が働きがいを持って働ける環境が整っているとはいえません。

世界には、仕事がない人が約1.9億人もいます。このうち6,800万人が若者(15～24歳)で、若者の失業率は大人よりも約3倍高くなっています。また、17歳未満の子どもの10人に1人が、教育を受けずに大人と同じように働いています。さらに、先進国でも、女性や障がい者、移民など社会的に弱い立場にある人を厳しい条件で働かせている現場が少なくありません。

誰かの犠牲の上に成り立つ経済成長ではなく、希望するすべての人に働きがいと十分な収入のある仕事が与えられ、持続可能な経済成長が実現できる社会に変えていかなければなりません。

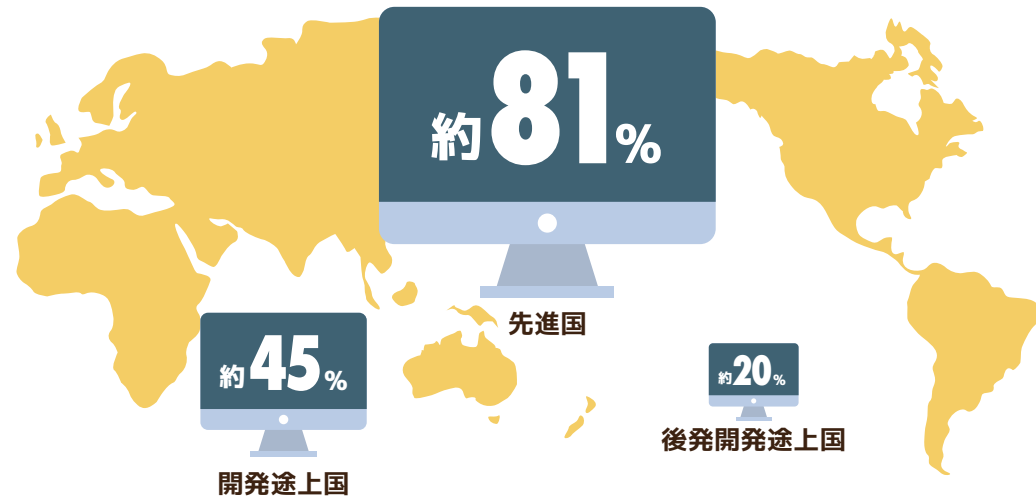




産業と技術革新の基盤をつくろう

- ・人々の暮らしや経済成長をささえる、災害に強くて丈夫な社会基盤をつくる。
- ・技術革新による産業の発展を推進する。

世界でインターネットが使われている割合



【Measuring the Information Society Report 2018 (ITU)】より作成

世界には、水資源や電気を利用することができず、経済活動はおろか十分な生活もままならない人が数多くいます。道路や水道、電気、電話やインターネット、金融サービスなどの、社会を支える基盤（インフラ）は、人々の暮らしを良くするだけでなく、生活を向上させる産業の発展にも欠かせません。そのためにも、地震や台風、洪水などの災害で壊れてしまうことなく、すべての人が安心していつでも利用できるインフラを整備することが大切です。

また、これからは、限りある資源の中で、多くの人の豊かに暮らしたいという願いに応え、地球環境のことも考えた技術や産業が求められます。そのためには、これまでにない考えで新しい価値や産業を生み出す技術革新（イノベーション）が欠かせません。インフラの構築は、イノベーションによる持続可能な産業の発展のためにも欠かせない重要な基盤となるものです。



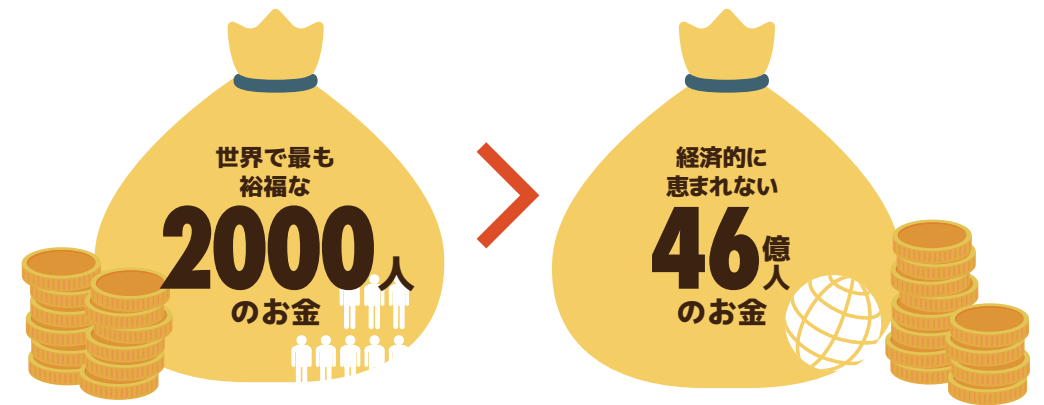
イノベーション



人や国の不平等をなくそう

- 同じ国の中、そして国と国の間にある不平等を改める。

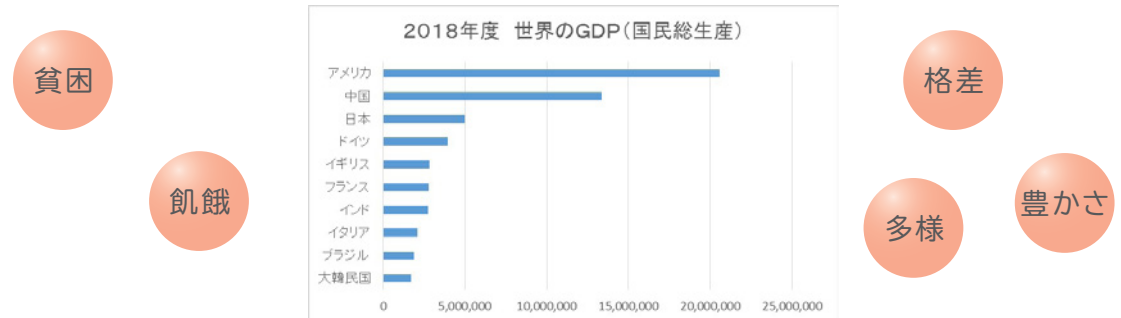
世界の2,000人のお金持ちが46億人以上のお金を持つ



【An economy for the 99% (OXFAM Briefing Paper)】より作成

世界の不平等をなくすことは、「誰一人取り残さない」社会をつくるSDGsの基本となる考えです。グローバル化によって、先進国でも途上国でも、豊かな人とそうでない人の格差が広がり、世界で最も裕福な2,000人が、貧しい46億人よりもたくさんのお金を持つような、極端な格差が生まれています。一部の人にだけ富が集中する社会で経済が発展しても、貧しい人はいつまでたっても貧しいままです。このような極端な格差をなくし、豊かさをみんなで分け合える仕組みができれば、貧困や飢餓など、ほかの問題の解決にもつながるはずです。

そして、これらの不平等を生み出している社会の仕組みに参加することすらできない人がいることも問題です。年齢や性別、障がいの有無、国籍や宗教などによる不平等も世界中にあります。さまざまな不平等をなくし、多様な人が活躍できる社会をつくることが求められています。



※グローバル化…技術の発展や進歩によって、国境を越えてヒトやモノ、カネが移動すること。

Webでくわしく

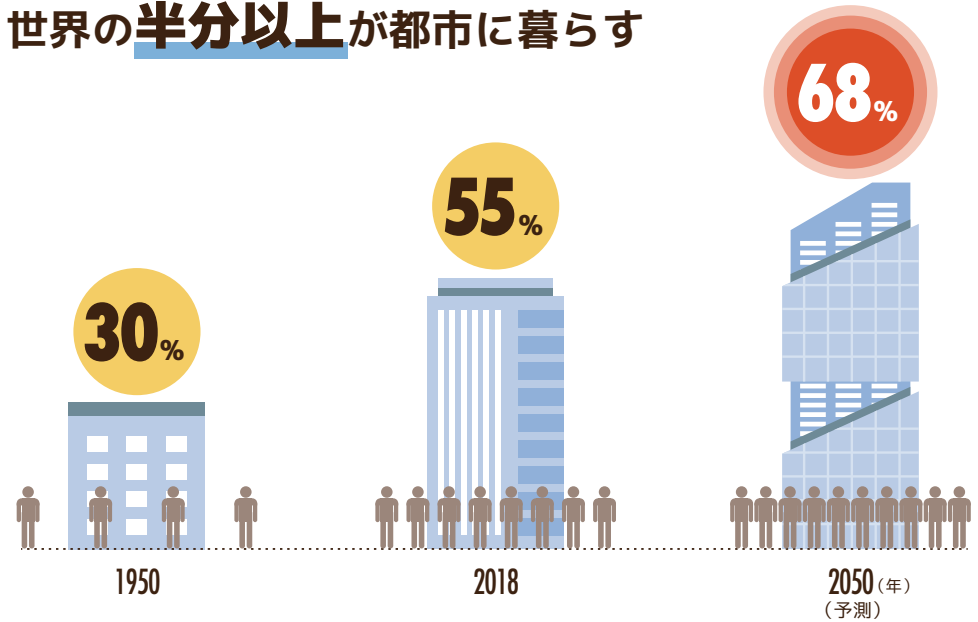
11 住み続けられるまちづくりを

目標 11 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-11.html>

住み続けられるまちづくりを

すべての人が安全で暮らしやすく、自然災害に強くて環境にやさしいまちをつくる。

世界の半分以上が都市に暮らす



「World Urbanization Prospects 2018 (UN)」より作成

学校や役所、交通や銀行、娯楽や商業施設などがそろう、たくさんの方が暮らす都市は文化や経済の中心です。現在、世界の人口の55%が都市で暮らし、2050年には68%まで増えると予想されています。しかし、多くの方が都市に集まった結果、住宅の不足、大気汚染や大量のごみ、交通渋滞、犯罪など、都市ならではの問題がどんどん大きくなってきました。また、台風や地震などの自然災害が起こると、深刻な影響を受けてしまうことも少なくありません。

すべての人がいつまでも住み続けられるまちをつくるためには、都市ならではの問題を解決して安全や利便性を高めることに加え、女性、子ども、障がい者、高齢者などが快適に暮らせる工夫も欠かせません。そして、地域に残る伝統や文化、歴史的な遺産を守り、そこで暮らす人たちが誇りを持って共にまちづくりに参加できる仕組みをつくっていくことも大切です。



Webでくわしく

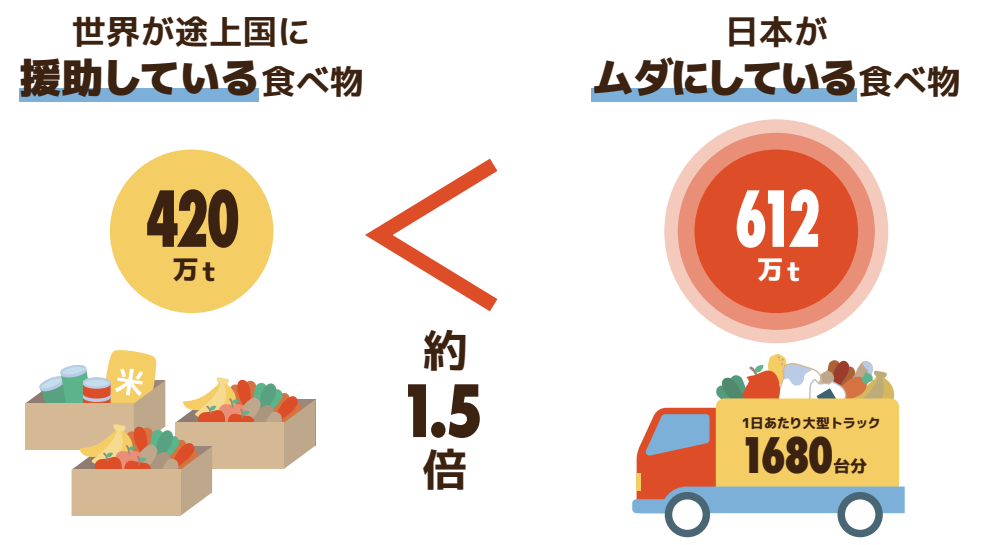
12 つくる責任 つかう責任

目標 12 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-12.html>

つくる責任 つかう責任

人や自然に負担をかけず、質が高くで多くのものが得られる生産と消費のあり方を追求する。

世界の食料支援量と日本の食品廃棄量



「国連WFP協会 年次報告書2019 (WFP)」より作成

「食品廃棄物等の利用状況等(平成29年度推計)(環境省)」より作成

現在の社会はたくさんの資源やエネルギーを使って、食品や衣服、文房具や電化製品、自動車などを生産しています。そして、私たちはそれらを大量に消費し、廃棄して暮らしています。

このような暮らしは、地球にとっても大きな負担をかけるだけでなく、物をつくる過程で、魚を獲り過ぎたり、森の木を切り過ぎたり、工場からの有害物質で空気を汚したり、自然環境を壊していることも大きな問題です。

これらの問題を解決するには、国や自治体、企業、そして私たち消費者がそれぞれに行動することが求められます。食品の無駄をなくす、ごみを減らす、再利用やリサイクルを徹底する、資源やエネルギーを効率よく使える仕組みをつくるなど、地球の限りある資源を使いながら、より多くのものを得られるような生産と消費のあり方が求められています。

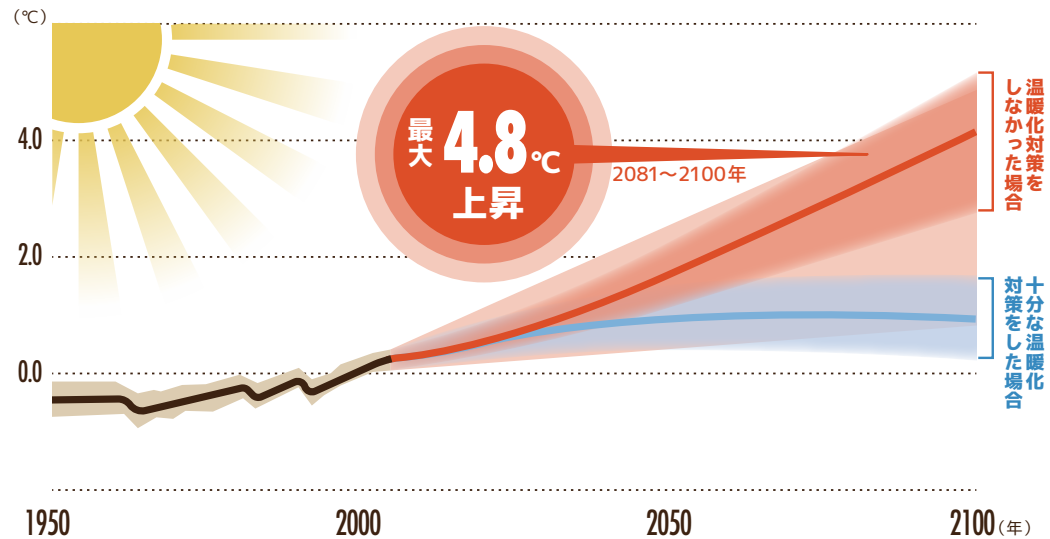




気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響を減らすための具体的な対策を考え、
いますぐに行動する。

1950年から2100年までの気温変化 (観測と予測)



[Fifth Assessment Report (IPCC)]より作成

熱波や干ばつ、集中豪雨、海面の上昇など、地球の温暖化がもたらす自然災害が世界中で起こっています。その影響は、農業や水産業、飲み水の確保、エネルギー供給、インフラなどあらゆる分野に及び、社会的にも経済的にも貧しい暮らしをしている途上国の人たちにとっては、より深刻な被害をもたらしています。目標 13は、これ以上の気候変動を止めること、そして気候変動によってすでに起こっている自然災害への具体的な対策を考えようと呼びかけています。

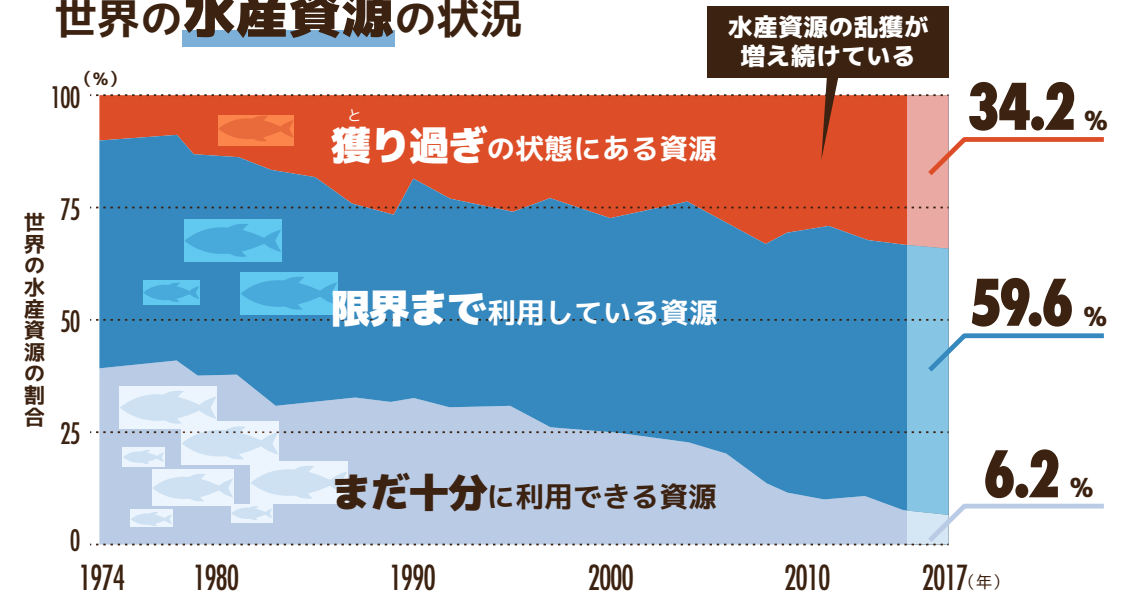
2015年のパリ協定で、世界の国々が地球温暖化を食い止めるために、温室効果ガスを減らすことに合意しました。気候変動に今すぐ具体的な対策をしなければ、地球の未来は取りかえしのつかないものになる恐れがあります。先進国が、これから経済発展をとげていく途上国に対し、温室効果ガスを減らすための技術や資金を支援し、すべての国が一つになって取り組む必要があります。



海の豊かさを守ろう

- ・より良い社会をつくるために必要な海と海の資源を守る。
- ・海と海の資源を利用するときには、それを利用し続けられる方法を選択する。

世界の水産資源の状況



[The State of World Fisheries and Aquaculture 2020 (FAO)]より作成

マグロやサンマなどの魚が食べられなくなるとしたら、どう思いますか？

今、世界の魚の資源はとても危険な状況にあります。世界の人口増加によって、魚を食べたいと思う人が増えた結果、魚を獲る量が増えています。さらに、ルールを守らずに魚を獲る人が後を絶たず、魚の獲り過ぎが大きな問題となっています。また、魚たちが暮らす海の環境が悪化していることも大きな問題です。大気中に排出される二酸化炭素や、農業、工業の排水によって海の環境が大きく変わってしまいました。海に捨てられるごみも海の生き物を苦しめていて、海中を漂うプラスチックごみを、エサとまちがえて口にして死んでしまう生き物が増えています。

私たち人間は、これまで、海からたくさんの恵みを受け取って生きてきました。これからも海とともに生きていくために、海の環境や生態系を守るための取り組みが求められています。



環境

産業の
発達

便利さ

豊かさ



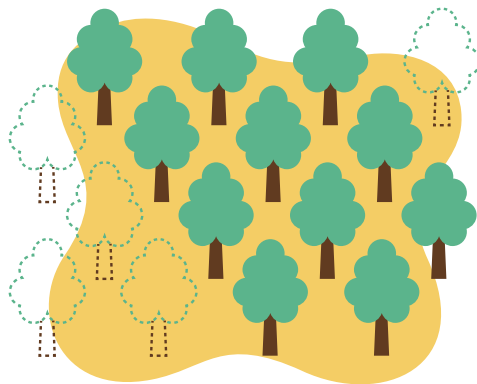


陸の豊かさも守ろう

- ・陸の生態系を守り回復し、将来にわたってその恵みを受けられるようにする。
- ・いつまでも続けられる方法で森林を管理し、砂漠化を防ぐ。
- ・土地が悪くなることを防ぎ、悪くなってしまった土地を回復する。
- ・たくさんの種類の生き物が関わり合っている環境を守る。

1年間で消える世界の森の面積 **絶滅**のおそれのある野生生物

(レッドリスト)

約**470**万ヘクタール

[Global Forest Resources Assessment 2020 (FAO)]より作成

約**3万5,500**種

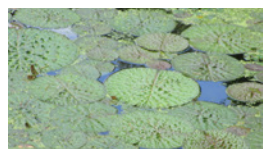
[IUCN Red List of Threatened Species (IUCN, 2020年11月現在)]より作成

食料や水、木材、薬品、燃料など、私たちの暮らしは、陸上の自然から得られる恵みによって成り立っています。しかし、人々の暮らしが豊かになっていく中で、陸上の多様な自然環境がどんどん破壊されてしまいました。たとえば、世界の陸地の面積の3割を占める森林は、1年間で約470万ヘクタール以上のペースで失われています。森林は生き物たちが暮らす場所だけではなく、酸素や土をつくり、水をたくわえる役割なども果たしており、一度なくなると元に戻すまでに長い年月が必要です。また、野生の生物のうち、3万5,500種が絶滅の危機にあります。

私たち人間はこれまで、自然の豊かな恵みを受け取って生きてきました。これからもその恵みを受け取り、将来にわたって生きていくためには、自然環境や生態系を守り、自然と共に生きるための新しいあり方を考えていかなければなりません。

福山に
生息しているのは

スイゲンゼニタナゴ



オニバス



ナゴヤダルマガエル

絶滅危惧種

準絶滅危惧種

自然の恵み

生態系



平和と公正をすべての人に

すべての人が法や制度で守られ、安心して暮らせる
平和な社会をつくる。

紛争の影響がある国や地域で暮らす子どもたち

約**2億4,600**万人

[世界の子どもたちを取り巻く最新ファクト (日本ユニセフ, 2020年10月現在)]より作成

世界には、今この瞬間も、紛争やテロなどの争いごとや暴力で命をうばわれたり、家族を失うなどのつらく悲しい思いをしている人がいます。家や財産をなくしたり、住む場所を追われる人も少なくありません。子どもや女性が虐待され、自由をうばわれていることも大きな問題です。あらゆる争いごとをなくし、平和な社会を実現するためには、すべての人にとって公正な法律や制度をつくり、誰もが利用できるようにしなければなりません。

また、公正な社会の実現に向けては、犯罪や汚職をなくしたり、誰もが政治に参加できる仕組みをつくらせたり、国民の知る権利や報道の自由を保障する取り組みも必要です。

持続可能な社会をつくるためには、私たち一人一人が安心して暮らし、能力を発揮できる「平和」で「公正」な社会が担保されなければならないのです。

自由

政治

平和

法

責任

福山
では

戦後、バラを植える人々

Webでくわしく

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



目標 17 <https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-17.html>

パートナーシップで 目標を達成しよう

持続可能な開発のために必要な行動や方法を強化する。
世界のあらゆる人たちの協力関係を活発にする。



この目標は、何か一つの課題を取り上げるものではなく、1から16までの目標を達成するために必要な行動や方法を強化し、世界中のあらゆる人の協力関係を活発にしていこうというものです。

特に、先進国から途上国に対するさまざまな支援、たとえば、資金や技術、人材の支援や、持続可能な社会のための制度や政策づくりなどが、具体的な方法として示されています。

SDGsの目標は幅広い分野にわたります。それぞれの国の努力で実現できることもあれば、国と国との協力が必要なこともたくさんあります。そして、国だけでなく、企業や研究機関、市民団体、地域、学校、家庭、さらに私たち一人一人の協力関係が必要です。

さまざまな人が協力し、立場を超えて話し合い、自由なアイデアで取り組むことが、地球のかかえる複雑で困難な問題を解決し、より良い社会をつくるためには欠かせません。



事例で学ぶ SDGs

さまざまな立場でSDGsの達成に取り組んでいる人たちがいます。すでに行動を起こしている取り組みには、より良い未来をつくるためのヒントがみついています。

具体的な取り組みを知って、自分自身や仲間で行うことは何か、考えるきっかけにしていきましょう。

福山から始める未来
SDGs in Action
企業の取り組み

https://www.fpco.jp/esg/environmenteffort/fpco_recycle.html

12 つくる責任
つかう責任

7 エネルギーを安全に
使う責任

13 気候変動に
具体的な対策を

循環型社会の実現を目指して

株式会社 エフピコ

エフピコ方式のリサイクルを全国に

食品容器の活用により、人と人、人と社会、そして人と環境をつなげ、豊かな社会の創造と持続可能な社会の構築に貢献していくことを目指して、エフピコはさまざまな活動に取り組んでいます。

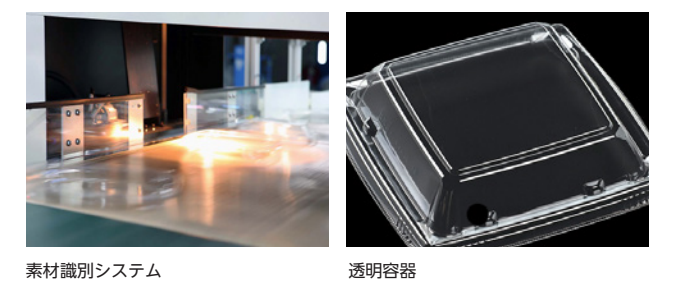
使用済み食品容器やPETボトルの回収については、1990年に6か所のスーパーマーケットの回収ボックスからエフピコ方式のリサイクルをスタートしました。現在では多くの方々の協力により、全国各地に9,400か所の回収拠点を全国に展開しています。



循環型リサイクルによる環境保全

エフピコは、世界で初めて使用済みトレーから食品トレー容器に生まれ変わる「循環型リサイクル」を始めました。食品トレーにはさまざまな種類がありますが、その中でも透明容器は、素材の種類が多いため、再生が難しいとされてきました。その透明容器について、独自の技術開発により近赤外線による素材選別システムを完成させ、透明容器の選別に成功しました。

環境保全にも努め、「循環型リサイクル」によって製作した『エコトレー®』や『エコA-PET®』は、原油から新しく作るトレーと比べるとCO₂の排出量を約30%抑えることができ、2019年度には、CO₂を16万トン排出抑制することができました。



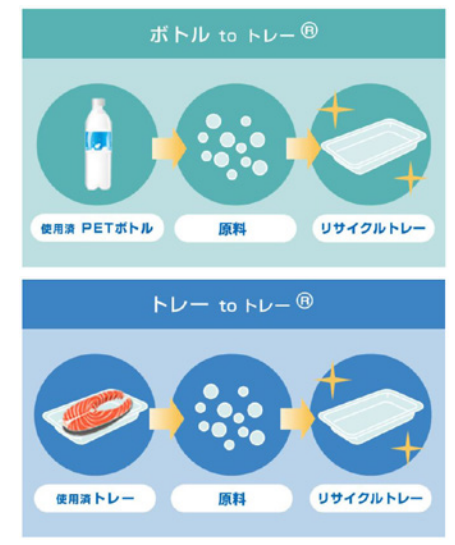
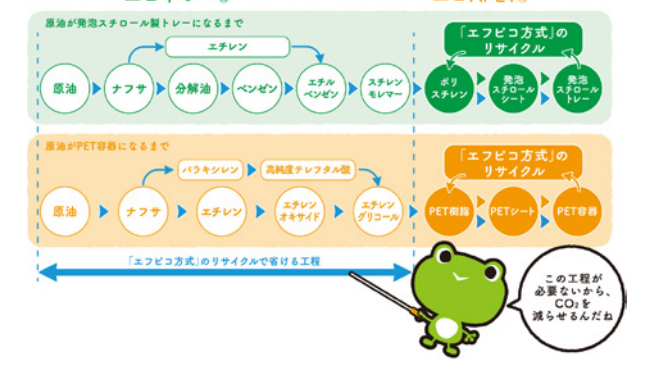
リサイクルで二酸化炭素(CO₂)の排出を抑える。

食品トレーの素材製造から廃棄、リサイクルまでの環境負荷を計算。「エコトレー®」や「エコAPET®」は、原油から新しく作るトレーにくらべると、二酸化炭素(CO₂)の排出量を約2/3に抑えることが確認されました。

CO₂低減効果

30% CO₂低減

エコトレー® エコAPET®



“地上資源”を活かす循環型社会の実現

エフピコでは、原油などの地下資源に対して、使用済み容器を“地上資源”と呼んでいます。“地上資源”を繰り返し使い続けるリサイクル活動を通して、「循環型社会」の実現に向けて、エフピコはこれからも取り組んでいきます。



藤井宣裕さん
株式会社エフピコ 環境対策室

私たちのリサイクルは、消費者のみなさんがスーパーへ使用済みのトレーを持って行くことから始まります。エフピコ方式のリサイクルのトップバッターは、みなさんなのです！一人一人が、今できることから始めてみませんか。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

8 働きがいも経済成長も

和菓子づくりを通じた地域創生

株式会社 虎屋本舗



未来社会の実現に向けた課題解決のために

現在、社会は環境の変化に伴い、従来の子ども会や婦人会、敬老会などが弱体化する一方、外国人コミュニティが形成されるなど、新たな

地域共同体の形へと変化しています。また、地方人口の減少により瀬戸内においても離島、山間部など孤立地域における高齢化が進んでいます。さらに、技術者や職人と呼ばれる方々の高齢化による伝統技能継承の課題など、これからの社会は多様な課題を抱えています。

離島の高齢者、子ども、生産者など地域コミュニティを巻き込んだSDGs活動。中小企業が社会共存価値を循環・創造させていく。



瀬戸内和菓子キャラバン～白石島プロジェクト～

虎屋本舗では、課題解決に向けた取り組みとして、笠岡市立白石小学校からの1本の電話をきっかけに、子どもたちとの和菓子プロジェクトをスタートさせました。離島であるがゆえに、外部との交流が少なかった子どもたちとともに始めた本事業では、子どもたちが島の生産者の方や農家の方々の知恵を借りながら、島の名産である「桑の実」を使った和菓子づくりに取り組みました。

この取り組みは、現在も進んでおり、和菓子づくりを通じて、子どもや高齢者、生産者など、地域のコミュニティを巻き込み、社会での共存価値を循環・創造させていくことを目指しています。

また、ITやSNSを活用し、他の島を巻き込んだ『瀬戸内キャラバン菓子折』の開発にも挑戦しています。



参観として開催しています。また、市の文化建築物でのインバウンド向けイベント、在住外国人児童向けの英語での和菓子づくりや茶道教室、原爆ドームに近い学校での平和菓子講演などにも取り組んでいます。

このように、さまざまな事業を通して、世代を超えた年間2000人以上の方々と、多様な郷土文化の継承を行っています。

虎屋本舗は、創業400年を迎えました。この長い歴史の中で培ってきた技術や地域社会とのつながりを生かし、和菓子を通じて郷土文化の世代間継承と地方ブランド創生の持続可能な開発の仕組みを担っていきます。そして、「お菓子を通じて人々を笑顔にすること」を目指して、これからも取り組みを進めます。

和菓子づくりを通じた多様な郷土文化の継承

これまでも出張和菓子教室として、多くの方々に和菓子づくり体験を行ってきました。この事業を、さらに多彩な和菓子教室にするため、特別養護施設における職員や地域の児童、入居高齢者との交流や、山間部の学校での年間親子



高田信吾さん
株式会社虎屋本舗
代表取締役社長

私たちの商人道の中にある「商人の売買するは天下の相（たすけ）なり」という精神のもと、地域社会に貢献したいという想いで、2007年からCSR事業をスタートしています。現在SDGsに積極的に取り組んでいく中で、瀬戸内ブランドのお菓子の開発、販売はもとより、この地域の創生と、魅力を世界に発信していく一助になれば望外の幸せです。



<https://www.lucks.co.jp/>

ラックス

11 住み続けられるまちづくりを



4 質の高い教育をみんなに



17 パートナリシップで目標を達成しよう



福山をアジアを代表する国際都市へ

ラックス建設株式会社

ラックスが目指す2030年

ラックス建設株式会社は、ビルやマンション、工場などを美しく再生する、今年30周年をおかえる総合リノベーション会社です。改修工事現場を指揮する「施工管理」を主な仕事とし、「BIGな会社より、HEROな会社を目指す」という思いのもと、常識にとらわれず、積極的に新たな取り組みに挑戦しています。

「生産人口減少に伴う、働く外国人の増加」と「2033年には、総住宅数の約30%が空き家となり地域社会が荒廃する」という未来予測に着目し、外国人が「住みたい、働きたいと思える日本」を、福山でつくり「福山を、アジアを代表する国際都市」にしたいと考えています。

外国人雇用に関する成功事例を福山でつくり、諸外国へ発信することで、「諸外国の労働人口減少の問題」の解決にも貢献し、「誰一人取り残さない世界」を実現していきます。

外国人の学習環境改善への取り組み

福山市で7校目となる日本語学校の開校準備をしています。

外国人が、日本語や日本の文化を学ぶことで、企業に対して自身の価値を高め、かけがえのない人材となります。



福山市で7校目となる日本語学校「しんぐろーバルカレッジ」

外国人の住環境整備への取り組み

当社の強みであるリノベーション技術を活用した空き家などの不動産再生事業により、新築時にかかるコストより安価で建物をよみがえらせることが可能となります。それにより低価格で賃貸住宅の供給が可能となり、福山に安く住

むことができるようになります。

さらに、空き家や古民家を活用するリノベーションは、環境への負担が少ないことも大きな特徴です。例えば、CO₂排出量は建替工事に比べて33分の1、廃棄物の発生も22分の1という研究結果があり、資源の節約に直結し、持続可能な社会を築くことができます。



リノベーションにより建物をよみがえらせ、価値を高める

外国人への労働条件の提供

広島県は周辺の県と比べて事業所や従業員の数が多いという特徴があります。創業当初から共に切磋琢磨してきた福山の企業とSDGsへの取り組みについて学び考え、ビジネスや仕組みを創造する場をつくっています。この取り組みを行うことで、企業間のパートナーシップがより形成しやすくなり、新たなイノベーションのきっかけや雇用の場をつくることができると考えています。



福山の企業が集まって行うSDGs勉強会



山田哲矢さん
ラックス建設株式会社
代表取締役

「どの国の誰一人取り残さず安心して学び、働き、生活できる安全な環境を提供する」

人口減少は確実にやってきます。外国人が安心して学び、暮らせる環境を整えるとともに地域住民とのコミュニティづくりも進めたいと考えています。今まで「夢」として掲げていたものが、少しずつ形となってきています。私たちは、「BIGな会社よりHEROな会社」を目指し、福山からSDGsにつながる取り組みを発信し続けます。



2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

8 働きがいも経済成長も

5 ジェンダー平等を實現しよう

11 住み続けられるまちづくりを

多職種で「食べる」を支える

猪原歯科 リハビリテーション科

実は飢餓(栄養不良)が増えている!?

日本は今日、飽食の時代といわれています。しかし実は気付かない間に、特に高齢者の中で栄養不良が増えてきています。特に高齢者では、栄養不良(飢餓)を原因とする虚弱(フレイル)の人の割合が3分の1にも上っています。これは、主にメタボ予防として推奨されている低カ

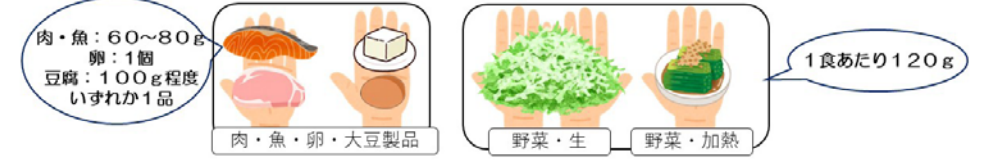
ロリー食が、高齢者にとっては逆効果となり、必要なたんぱく質やカロリーが足りない「かくれ飢餓」の状態になっているためです。猪原歯科・リハビリテーション科では、歯科診療だけでなく、毎月、管理栄養士による健康料理教室を開催するなど、食を通じた健康づくりに取り組んでいます。

バランス良い食事をこころがけましょう

● 主食・主菜・副菜をそろえる



● これくらい食べましょう(1食あたり)



クリニック全体で「かくれ飢餓」のリスクを伝える

高齢者の「かくれ飢餓」を生み出してしまっているのは、栄養に対する知識不足や、まちがった理解です。すべての医療従事者の中で「食べる」という行為に最も近く、リスクが高まる前に気付くことができる歯科が、「低栄養(飢餓)」に対して、アプローチしていく必要があります。患者さんがクリニックへ通院される際に話をするのはもちろん、地域住民に対しても健康料理教室や出前講座などを行い、リスクの啓発を行っています。



食べる楽しみを、地域ぐるみで!

困っている方は、高齢者だけではなく、医療的ケア児などの障がいがある子に対しても、食べる支援のみならず、地域ぐるみでの取り組みが大切となります。そこで、NPO法人「えがおのまちづくりステッキ」を設立し、西日本最大の大道芸フェスティバル「ふくやま大道芸」を通じて、地域ぐるみの取り組みを進めています。



猪原信俊さん
猪原歯科
院長・歯科医師

「生涯自分の口からおいしく食べることを支えていく地域の拠点」
私たちは、「何歳になっても、どんな状態であっても、家族と楽しく食卓と一緒に囲み、美味しく食べられること」を目標に、日々の診療や活動を行っています。人生の大きな楽しみである「食」を人生の最期までサポートしたい!基本となる歯科診療はもちろんのこと、リハビリや管理栄養士、ケアマネジャーなど多職種が一体となった地域ぐるみの「食支援」の拠点となるよう、努力を続けています。

福山から始める未来
SDGs in Action
企業の取り組み

<https://www.ecoeiwa.co.jp/>

6 安全な水とトイレを世界中に

安全な水を 福山から世界へ

永和国土環境 株式会社

下水道がない地域・場所にも水洗トイレを

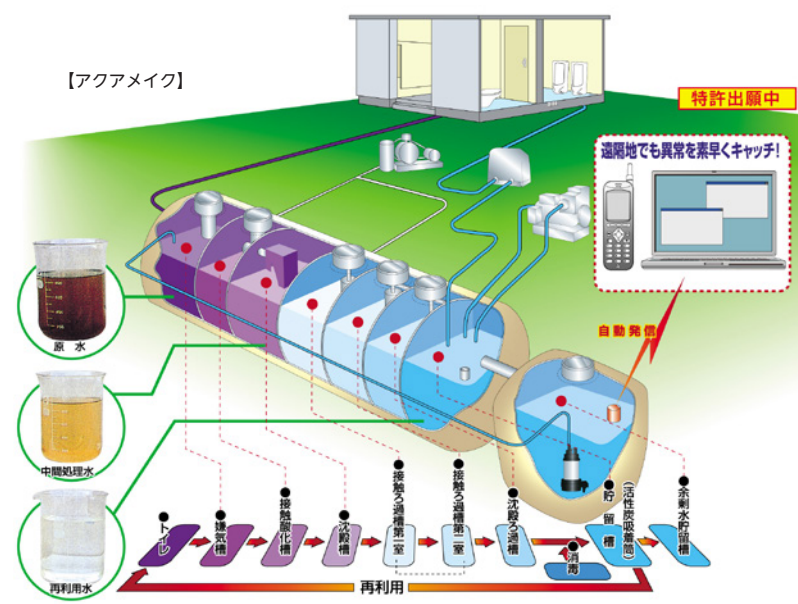
永和国土環境は、1996年から環境浄化事業に取り組み始め、「アクアメイク」という排水再利用処理装置を開発しました。この装置には、広島の特産品であるカキの殻が用いられており、人の排泄物からきれいな水を生み出すことができます。その水を装置の中で循環させ、再利用することで、池や川に放出される未処理の水が減り、富栄養化を防ぐことが可能になります。

加えて、下水道などのライフラインがない地域でも、「アクアメイク」を用いることで、水洗トイレを使うことができるようになりました。

現在、「アクアメイク」は、公共トイレを含め、国内の650か

所に設置されており、水質や環境問題の改善に役立っています。

また、海外にも技術を提供することで、世界中に安全な水とトイレを普及させるという課題の達成も目指しています。安全な水を提供することで、水不足や衛生問題に苦しむ世界中の人々を救うことができると考えています。



スリランカの世界遺産にバイオトイレを設置

スリランカでは、上水道の普及と水需要の増加に伴い、汚水の排出量が増加する一方、下水道普及率が2.5% (2014年時点) に留まっています。そのため、河川などに未処理排水が放流されており、衛生状態の悪化や水源河川の水質汚染が喫緊の課題となっています。

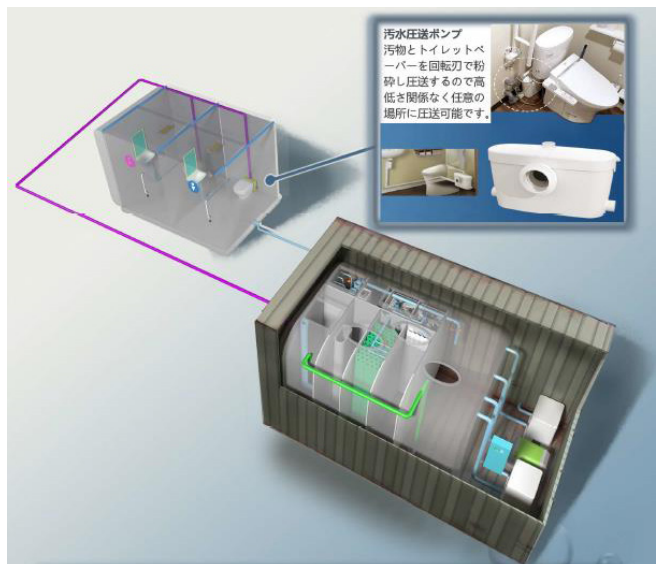
また、世界遺産のポロンナルワでは、既存のトイレ設備から、処理されていない汚水が土壤に浸透し続けているため、地下遺跡に悪影響を与えています。スリランカ政府は年々増加する観光客への対応として、環境に配慮した衛生施設のインフラ整備を進めています。



スリランカの世界遺産 ポロンナルワ

「どんなときでも安全できれいな水とトイレ」を目指して

現在では、水源がない場所や災害時などにライフラインが途絶えた際にも、水洗のトイレを利用できる「移動式循環排水再利用装置」を開発し、多くの方が、「どんなときでも安全できれいな水とトイレ」が使えることを目指しています。



移動式循環排水再利用装置



岡本修次さん
永和国土環境株式会社
海外事業部長

環境浄化事業に取り組むきっかけとなったのは、「公園の池などで発生しているアオコは、どうして発生するのだろうか?」という疑問からでした。

排水が池や河川に排出されることで富栄養化が進行し、アオコ・異臭の原因となります。普段何気なく使っているトイレの水を再利用することにより、排水を外へ出しません。

SDGsが掲げる「安全な水とトイレを世界中に」という目標は、私たちの取り組みと同じであり、日本、そして世界の衛生面の改善・環境へ貢献を目指しています。

福山から始める未来
SDGs in Action
福山市出身芸術家

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

16 平和と公正を
すべての人に

国や地域、文化の 垣根を越えて

芸術家 野田正明



あなたには 何に見えますか？

同じ
モニュメントでも、
角度を変えると、
違って見える。

「いまこそ未来」
三之丸町 福山駅

アートは国境、世代を超え 世界を恒久的に結ぶ

福山市新市町出身の野田正明さんは、国際作家として世界を舞台に活躍しています。

2000年に福山市初の彫刻モニュメント「飛翔Ⅱ 時空を超えて」を、新市町の玄関口である交差点に設置。それから20年、次世代への遺産となるよう願いを込めて制作を行い、モニュメントは、福山市内の13か所、国内は広島市、松江市、京都府、大阪府、東京都、国外はアメリカ、ギリシャ、中国へと広がっています。

ふるさと福山市を軸に、国内から世界へアートと文化を通じた交流ネットワークができていくことを願って、活動しています。



「飛翔-天空昇」京都府 宇治駅 ステンドグラス



芸術家
野田正明さん

作品との触れ合いから、表現することの喜びと可能性、夢をどう育てていくか考える機会を持ってください。広く多くのものに触れ、体験しながら、行動を伴って、夢をふくらませていってください。

福山市の未来を担うのは君たちです。

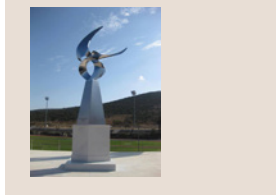
ギリシャ



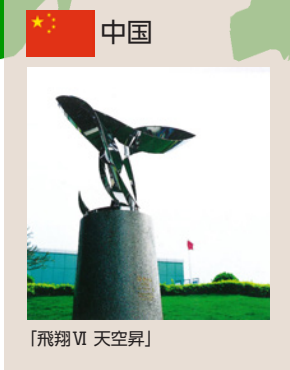
「アポロの鏡」



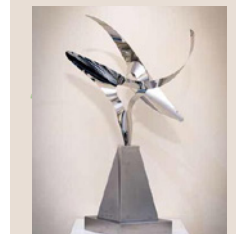
「ラフカディオ・ハーンの開かれた精神のオデュッセイア」「ヘルメスの精神」



世界各地に設置されている作品 2020.10現在



アメリカ



行ってみないとわからない

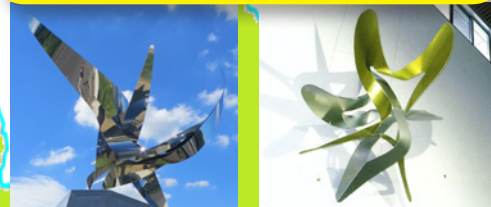
クイズ!

野田正明モニュメント ウォークラリー



「新風」新市町
大木建設

Q1 「飛翔II」と「啓発」どちらが大きい?



「飛翔II」 新市町

「啓発」神辺町
かなべ市民交流センター



「飛翔V」神辺町
ひらの保育園



「飛翔III」新市町
戸手高等学校



「大志」千田町
盈進学園

Q2 「創生」の後ろに見える大きな建物は?



「創生」西町
ふくやま美術館

Q3 「いまこそ未来」は、
福山城口・バラ公園口 どちらにある?



「いまこそ未来」
三之丸町 福山駅

Q4 「栄光」の台座に
刻まれた文字は何色?



「栄光」千代田町
エピコアリーナ



「サブライム」「追跡」
霞町 福山市中央図書館



「無限の可能性」
箕島町 シギヤ精機

